

オーエスの枠を超えた頭脳集団 それが次世代商品開発研究所です。

第9号のオーエスニュースは株式会社次世代商品開発研究所をご紹介します。次世代商品開発研究所を構成するメンバーは、いずれもオーエスの各種製品開発に携わり、お客様にご好評をいただいていた製品を世に送り出してきた精鋭たちです。その技術と頭脳を生かし、オーエスの枠にとらわれず新しい製品や商流を生み出すことが、活動の中心になっています。

次世代商品開発所は2006年に誕生し、当初は店舗の映像システム等の設計・施工などを手掛けていましたが、2014年にメンバーを一新し、新分野へのチャレンジをしています。

次世代商品開発研究所の3つの柱

新しい製品を生み出すことは大事ですが、さらにそれを流通させる新たな市場・ビジネスモデルを開拓することは、雇用創出も生み出し社会貢献にもつながると考えます。

そのために事業の3つの目標を定め、活動の柱としています。お客様も、取り組んでみたい課題や入口の分からない課題などありましたら、次世代商品開発研究所へご相談ください。



2016年12月20日発行
お客様へのお役立ち情報、**NO.09**
トピック等をお知らせする
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

新規事業	オーエス事業	起爆剤
新規事業企画、新商品企画・開発 および 新しい仕組みを作る事	オーエスの既存事業を 外から見直し 未来の姿を創出する事	既存事業を 業界トップへ押し上げる 起爆剤の役割をする事
 裏面参照		
 裏面参照		
①関連企業や関連事業と、市場のニーズを 結びつける新たな商品を開発する。	ものづくり企業として物販で実績を積み重 ねてきたオーエスを発展させるため	例えば、 常に進化を続けるオーエスのスクリーン生地 実はこれも次世代のメンバーの足跡です。
②新しい技術・商品を調査・開拓し、市場 へ売り出すための企画・仕組みを作る。	①総合 AV ソリューション企業としての あるべき姿を創出する。	①他者が追従できない素材開発。
今まさに宍粟市の異企業コラボレーション を進め、市場うニーズの掘り起こしを進め ています。	②お客様の幸福と社会貢献へ、 既存事業ができることを創出する。	②世界から優れた製品を調達し、 市場を構築する。
	ものから人へ、さらに人からものへ、 AV 事業のソリューションカンパニーとして 未来の姿を創出します。	③クリーンエネルギーの新たなニーズを 開拓する。
		それぞれの企業様が持つ既存事業を 継続するのではなく、企業様の外側から 業界トップを目指す「起爆剤」を開発する 役割を担っていくことを目指します。

新たな商品の創造、異企業間コラボレーションで新たな市場づくりが始まっています。

テラセルプロジェクト：クリーンエネルギー（ソーラーシート）とセンシング技術を繋ぐインターフェース



(Terra (テラ：地球)と「照らせるデ(関西弁)」をかけた造語。
 “地球を明るくしたい”をコンセプトに取り組みを始めたプロジェクト。ソーラーシート、センサー、バッテリー等のインターフェースを組み合わせた製品群と、それを活用する仕組み全体に関わる物を指すブランドです。オーエスグループが提供いたします。

製品化第一号「ストリートライト」

- 型式：TFL-1000-392
 製品構成：
 - ・16W-12V ソーラーシート
 - ・バッテリー収納ボックス
 - ・LED 街灯

開発途上国の無電化地域の簡易照明として。
 電気工事が困難なエリアの照明として。
 夜間イベントの照明として。
 防犯照明として。

ナイジェリア非電化地域への提供



茨粟市の市役所駐車場にも設置しました。

シソプロジェクト：研究所の位置する茨粟市ブランドを構築する



茨粟市の企業様どうしがコラボレーションし、知恵を出し合い、地元の素材や技術を合わせ生み出される製品。商品の企画・製作を進め茨粟市発の新たなブランドを立ち上げ、地域活性化につなげるプロジェクト。茨粟市は兵庫県の中部に位置し、自然が豊富で、昔から林業が盛んな地域。温泉、清流、地酒、素麺などもあり地域を生かした地場産業が盛んな土地です。

- 茨粟杉による高級家具とプロジェクターを組み合わせた
インタラクティブデスク (プロタイプ)
 製品構成：
 - ・茨粟杉と檜を使用したテーブル及びチェア
 - ・超短焦点プロジェクター OptomaEH320UST
 - ・WindowsPC

会議室のミーティングテーブルとしてあるいはレストランのメニューボード、対戦型ゲームボードとしてのご提案。

特許出願中



茨粟ビジネスサポート説明会



近日開催！

茨粟市と共同により小学生向けの「ものづくり教室」も実施に向け企画中です。



株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表 奥村正之が歩みを振り返ります。「けんこんいつてきで何が語られるか、お楽しみください。」

振り返れば、大沢商会での在籍期間は短かったのですが、仕事の基本中の基本をふたりの上司に教えていただいたように思います。それが現在の私の中にいきています。そして、現在の会社（オーエスグループ）の運営にかなりの影響を与えています。また、上司以外でも業務課の課長から営業活動以外のこと、いわゆる社会人としてビジネスマンとしての振る舞いなども教わりました。たとえば、上司への報告の際にデスク前での立ち方や話し方、報告の仕方、書類の書き方、伝票の書き方、電話応対、社内での歩き方など社会人として必要なマナーを実際の活動の場で教えていただきました。

在籍期間中は、しんどいこともたくさんありましたが、厳しい中にも楽しさがあり、お客様からも本当に可愛がっていただき、充実した日々を過ごさせていただきました。

そのような矢先に突然、「オーエスに来い」との父親からの誘い。

このとき、世の中はバブルの絶頂期で人手不足でもあり、求人難。なかなか採用をかけても人が採用できない状況のようでした。

お世話になった大沢商会、また上司から受けた恩もたくさんありましたが、退職を決意し、父親の会社へ入社することにいたしました。

退職を決意したあとに上司から聞いた話なのですが、半年前に本社の企画部への異動の打診が上司に有ったらしいのです。

この打診を上司が断ったのか保留にしたのかは定かではありませんが、そんな話があったようです。

個人的には本社の企画部にも行ってみたかったのですが、ご縁がなかったようです。今思えば、私が大学時代に父親は心筋梗塞で病院に運ばれたこともあり、早いうちに引継ぎをすべきだと考えていたのかもしれない。そうして、お世話になりました大沢商会を退職することになりました。

そして、この先から本当の社会の厳しさを知ることになるのです。

(続く)



009

代表 奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。